

こだわり 1 耐震構造に優れた家づくり

■ 実物大実験などを通して、地震に強い安全な家をご提供しています。

実物大実験により安全性の高さを実証

アイフルホームは、阪神・淡路大震災クラスの大きな揺れと、その余震を想定した実物大実験を防災科学技術研究所にて行い、地震に対する高い安全性を実証しました。



「耐震等級3」相当の耐震性能を実現

アイフルホーム加盟店が耐震設計マニュアルと構造設計CADシステムにより、設計するすべてのプランの壁量、壁の配置バランス、接合強度などの耐震性能チェックを重ね、より安全性の高いプランをつくります。さらに株式会社LIXIL住宅研究所にて「耐震等級3」相当の構造チェックを行い、「構造チェック結果報告書」を発行します。



※イメージ図



「耐震等級3」とは

建物の強さを表す指標として、品確法の住宅性能表示での耐震等級があります。最低の基準として建築基準法の範囲内の等級1、建築基準法の1.25倍の強さを等級2、建築基準法の1.5倍の強さを等級3として3段階の耐震等級が設けられています。

住宅性能表示基準の耐震等級

性能表示等級	性能等級の概要
等級3	建築基準法の1.5倍の建物強さ 数百年に1回程度発生する地震力の1.50倍の力に対して倒壊・崩壊しない程度。
等級2	建築基準法の1.25倍の建物強さ 数百年に1回程度発生する地震力の1.25倍の力に対して倒壊・崩壊しない程度。
等級1	建築基準法のレベルの建物強さ 数百年に1回程度発生する地震力に対して倒壊・崩壊しない程度。

※記載内容は、住宅性能表示制度における最高等級の評価基準を満たすよう設計評価したものです。同制度に基づき設計段階で評価したもので、完成後や経年変化を考慮したものではありません。地域・プランにより最高等級の評価基準を満たさない場合があります。住宅性能表示制度による住宅性能評価書の交付を受ける場合は、登録住宅性能評価機関の評価を受ける必要があります。(申請・評価には別途費用がかかります。)